

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【公表番号】特表2007-508608(P2007-508608A)

【公表日】平成19年4月5日(2007.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2007-013

【出願番号】特願2006-530243(P2006-530243)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 6 1 0 Q

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月30日(2007.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

添付ファイル付き電子メール・メッセージを、少なくとも1人の受信対象者へ送信する旨の要求を受信し、

前記少なくとも1人の受信対象者の特性値を、前記添付ファイルの最大受信者許容値と比較し、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値が、前記添付ファイルの前記最大受信者許容値を超えるのに応答して、前記電子メール・メッセージを送信する前に送信者認証を要求して、ウイルスが前記電子メール・メッセージを送信することによって自己増殖しようとしている場合に、前記送信を軽減すること

を含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する方法。

【請求項2】

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値を、前記電子メール・メッセージの最大受信者許容値と比較し、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値が前記電子メール・メッセージの受信者の前記最大受信者許容値を超えるのに応答して、前記電子メール・メッセージを送信する前に送信者認証を要求すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

添付ファイル付き電子メール・メッセージを送信する旨の要求の受信が、前記電子メール・メッセージ内に添付ファイルとして組み込まれたファイルを検出すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値と、最大受信者許容値との比較が、

前記少なくとも1人の受信対象者の少なくとも1つのアドレスを、受信者のアドレス帳と比較し、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記少なくとも1つのアドレスのうち、受信者の前記アドレス帳のアドレスにマッチするアドレスの数を計算し、

前記マッチするアドレスの数が、受信者の前記アドレス帳内のアドレスの最大許容値を超えていているか否かを確定すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値と、最大受信者許容値との比較が、

前記少なくとも1人の受信対象者の数を、或る種の前記添付ファイルの最大受信者許容値と比較すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記電子メール・メッセージを送信する前の送信者認証の要求が、
認証としてのパスワードの入力と送信者による手入力のうち、少なくとも1つを要求すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

ネットワーク管理者およびユーザのうち、少なくとも一方から前記最大受信者許容値を受信すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記送信者認証の拒絶の受信に応答して、前記電子メール・メッセージが阻止された旨をネットワーク管理者に通報すること

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

ネットワークに通信可能に接続されたコンピューティング・システム
を含み、

前記コンピューティング・システムは、

添付ファイル付き電子メール・メッセージを少なくとも1人の受信対象者に送信するための要求を受信する手段と、

前記少なくとも1人の受信対象者の特性値を、前記添付ファイルの最大受信者許容値と比較する手段と、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値が前記添付ファイルの前記最大受信者許容値を超えるのに応答して、前記電子メール・メッセージを送信する前に送信者認証を要求する手段と

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減するシステム。

【請求項10】

前記コンピューティング・システムは、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値を、前記電子メール・メッセージの最大受信者許容値と比較する手段と、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値が前記電子メール・メッセージの受信者の前記最大受信者許容値を超えているのに応答して、前記電子メール・メッセージを送信する前に送信者認証を要求する手段と

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項11】

添付ファイル付き電子メール・メッセージを送信する旨の要求を受信する前記手段は、
前記電子メール・メッセージ内に添付ファイルとして組み込まれたファイルを検出する手段

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項12】

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値を最大受信者許容値と比較する手段は、

前記少なくとも1人の受信対象者の少なくとも1つのアドレスを、受信者のアドレス帳と比較する手段と、

受信者の前記アドレス帳のアドレスとマッチする、前記少なくとも1人の受信対象者の前記少なくとも1つのアドレスの数を計算する手段と、

前記マッチするアドレスの数が、受信者の前記アドレス帳内のアドレスの最大許容値を超えていているか否かを確定する手段と

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項13】

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値を最大受信者許容値と比較する手段は、前記少なくとも1人の受信対象者の数を、或る種の前記添付ファイルの最大受信者許容値と比較する手段

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項14】

前記電子メール・メッセージを送信する前に、送信者認証を要求する前記手段は、認証としてのパスワードの入力と送信者の手入力のうち、少なくとも1つを要求する手段

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項15】

ネットワーク管理者とユーザのうち少なくとも一方から、前記最大受信者許容値を受信する手段

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項16】

前記送信者認証の拒否の受信に応答して、前記電子メール・メッセージが阻止された旨をネットワーク管理者に通報する手段

をさらに含む、自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減する、請求項9に記載のシステム。

【請求項17】

自己増殖型電子メール・ウイルスを軽減するためのプログラムであって、該プログラムがコンピュータに、

添付ファイル付き電子メール・メッセージを少なくとも1人の受信対象者へ送信する旨の要求を受信する機能と、

前記少なくとも1人の受信対象者の特性値を、前記添付ファイルの最大受信者許容値と比較する機能と、

前記少なくとも1人の受信対象者の前記特性値が前記添付ファイルの前記最大受信者許容値を超えているのに応答して、前記電子メール・メッセージを送信する前に、送信者認証を要求する機能と

を実現させるプログラム。